

なぜ〈共同体自治〉が必要か^{世田谷区}

基本構想審議会第1部会（第5回）12.09.27

首都大学東京 宮台真司

日本の民主主義が うまく行かない二つの理由

(1) グローバル化による困難

先進各国を襲う、不安に巣食うポピュリズム

(2) 日本であるがゆえの困難

民主主義を支える〈自立した主体〉が、不在

(1) グローバル化による困難

～グローバル化への対処と民主制との両立困難～

欧州：欧州信用不安

グローバル化で「小さな政府」が不可欠

⇒痛みゆえに「大きな政府」を主張する大統領が誕生

⇒国債と通貨が暴落、欧州各国の銀行が苦境に

米国：社会保険制度改革による大統領落選危機

グローバル化による格差化で国民皆保険が不可欠

⇒だが米国精神に反するとして大規模な違憲訴訟

⇒とはいえ国民皆保険をやめれば巨大な社会不安

(2)日本であるがゆえの困難

～〈自立的な主体〉の不在～

エリート層が抱える問題

〈現状を見ずに権益だけを見る出鱈目な政策立案〉

零戦は作れても戦争を合理的にマネージできない

日本の原発問題= 〈巨大なフィクションの繭〉

非エリート層が抱える問題

〈共同体空洞化を背景とした感情的な噴き上がり〉

ポピュリズム政治が世論を支えにすることで暴走

尖閣問題／竹島問題／北方領土問題

日本を追いかける先進各国

グローバル化が先進各国にもたらす中間層没落

知的ネットワークから孤立した鬱屈した存在を量産

〈共同体空洞化を背景とした噴き上がり〉と同等事態を帰結

そうなる理由：〈剥き出しの個人〉が極めて危険だから

〈剥き出しの個人〉は危険 と考える社会学の伝統

クラッパの**限定効果説** selective exposure theory

〈剥き出しの個人〉はマスコミの影響を受けやすい

ラザースフェルトの**オピニオンリーダー説**

マスコミ情報は小集団ボスの解釈を介して成員に伝達

リースマンの「**孤独な群衆** lonely crowd」説

〈剥き出しの個人〉は周囲の流れに右往左往する

共同体は、全体主義の ストッパーかインキュベーターか

欧州的传统：補完性の原則という中間集団主義
ギリシアのポリス思想、中世都市国家の伝統

米国的传统：共和制の原則という中間集団主義
英国国教会の弾圧を逃れて巡礼始祖が新天地に

日本的传统：国家統治に抗う中間集団の不在
中間集団は国家の手足（自然村を行政村に置換）

日本に蔓延する〈共同体全体主義〉

山口県知事選挙の現場

非組織候補の応援者に対する脅迫の数々

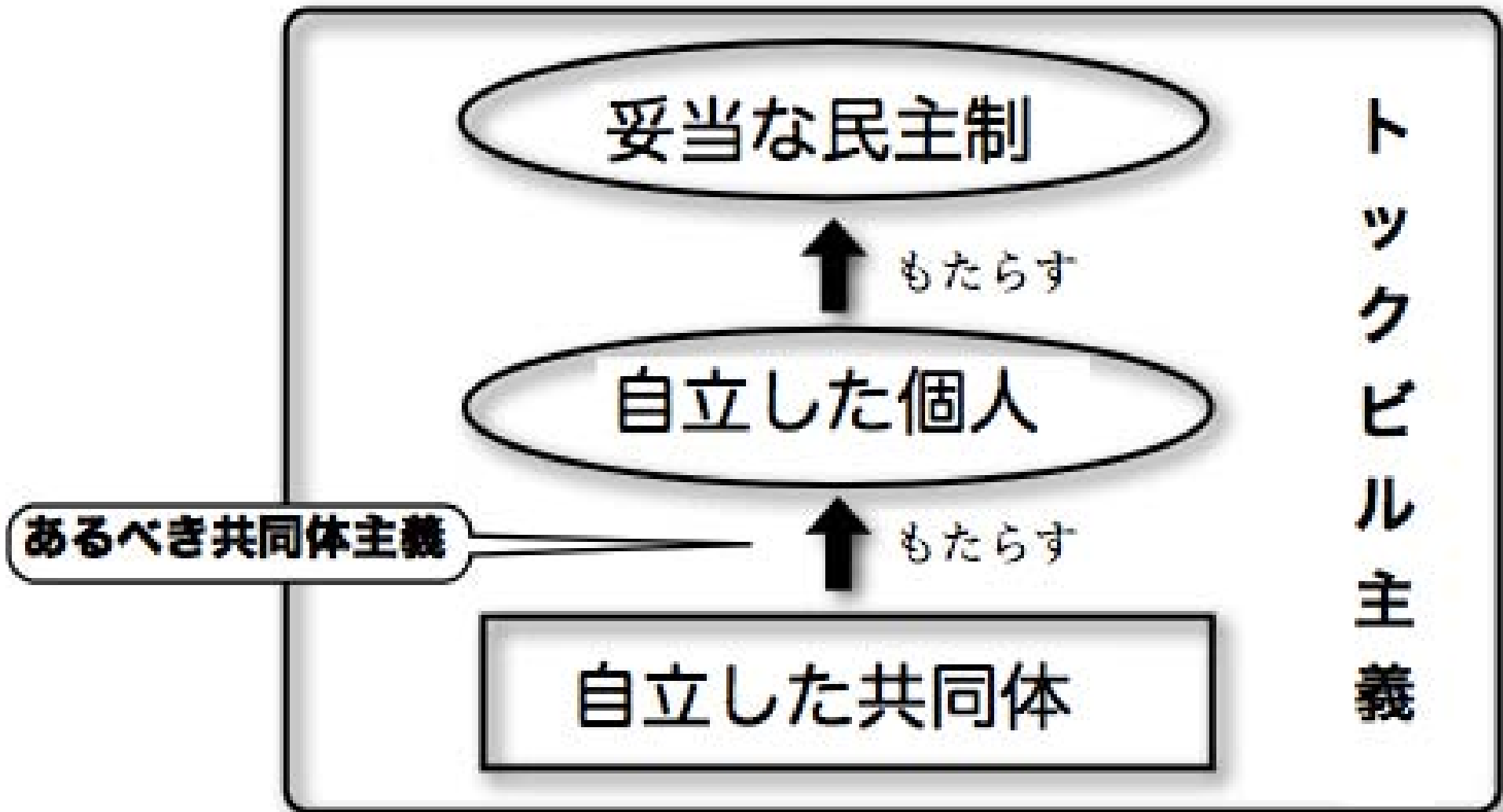
大津市いじめ事件の現場

親の力関係が子の力関係に反映し、親たちが黙る

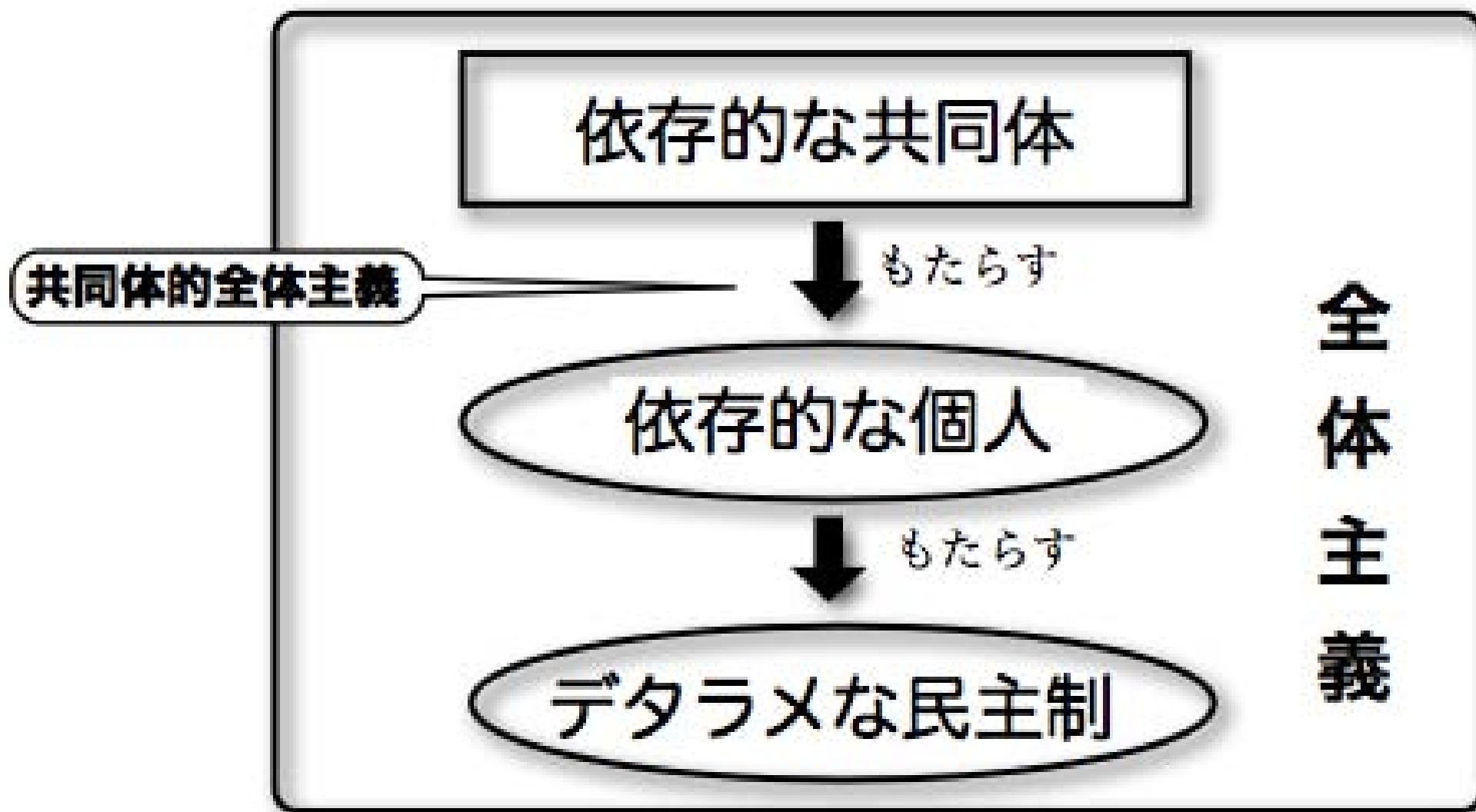
共同体 (中間集団) は望ましいか望ましくないか

ヒント:共同体空洞化が〈共同体全体主義〉を招く

〈妥当な民主制〉は 〈自立した共同体〉を要する



〈依存的な共同体〉は 〈データラメな民主制〉を招く



先進各国が〈デタラメ化な民主制〉へ

～〈不安のポピュリズム〉 〈不安のマーケティング〉の蔓延～

丸山眞男は欧米社会特にアングロサクソンを理想化

○欧米：自立した共同体 ⇒ 自立した個人 ⇒ 妥当な民主制

×日本：依存した共同体 ⇒ 依存した個人 ⇒ デタラメな民主制

だがグローバル化が丸山の欧米理想化を無効に

資本移動自由化がもたらす貧困化 = 中間層の没落

実存の〈不安化〉とコミュニケーションの〈不信化〉

セキュリティヒステリーが蔓延するアングロサクソン

米国のゲイテッドコミュニティ化 = 〈不安のマーケティング〉

英国のクリミナルジャスティスビル化 = 〈不安のポピュリズム〉

〈デタラメな民主制〉を 〈妥当な民主制〉に立て直せるか

〈依存的な共同体〉を〈自立的な共同体〉にシフトさせ...

↓ それによって...

〈依存的な個人〉を〈自立的な個人〉にシフトさせ...

↓ それによって...

〈デタラメな民主制〉を〈妥当な民主制〉にシフトさせる

ゆえに処方箋のポイント：〈自立的な共同体〉の樹立

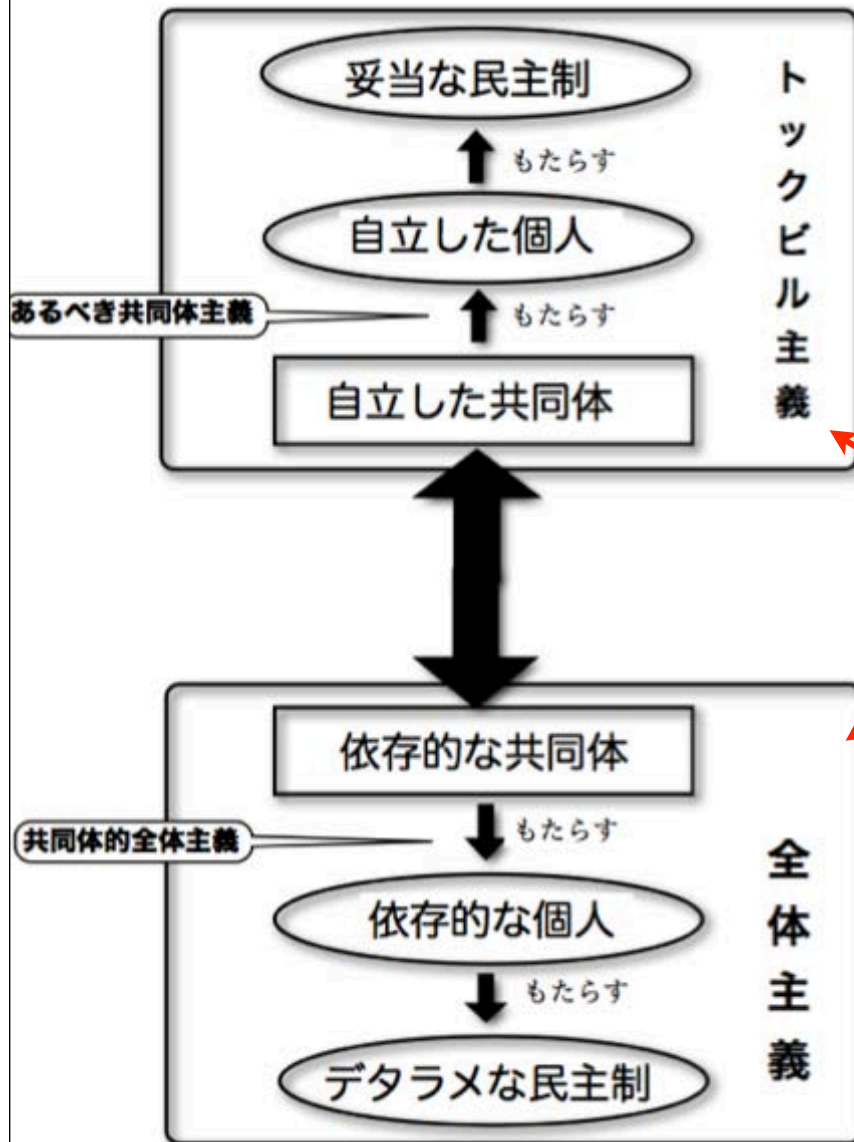
いかに〈自立的な共同体〉を樹立できるか

復習

〈妥当な民主制/デタラメな民主制〉の分岐点は？

〈共同体の自立/依存〉が分岐点

いかに〈自立した共同体〉を実現するか



丸山眞男は欧米社会特にアングロサクソンを理想化

- 欧米：自立した共同体 ⇒ 自立した個人 ⇒ 妥当な民主制
- × 日本：依存した共同体 ⇒ 依存した個人 ⇒ デタラメな民主制

だがグローバル化が丸山の欧米理想化を無効に

資本移動自由化がもたらす貧困化 = 中間層の没落

実存の〈不安化〉とコミュニケーションの〈不信化〉

セキュリティヒステリーが蔓延するアングロサクソン

〈自立した共同体〉に向けた**誤**戦略

〈**心の習慣**〉は簡単に変えられない

論壇の「べき論」の無効 =丸山眞男の失敗

宮台「援交論」が証明した「空気が変われば全て一変」

ギデنزの「構造化理論」がヒント

〈**心の習慣**〉と〈**社会構造**〉との循環

循環:AがBを可能にし、BがAを可能にする

〈**社会構造**〉をいじる所から出発せよ！

〈**心の習慣**〉を陶冶するための〈**社会構造**〉の設計へ

〈社会構造〉の設計指針となる 〈心の習慣〉

① 〈参加〉に向けた設計

〈任せて文句垂れる作法〉から



〈引き受けて考える作法〉へ

&

〈空気に縛られる作法〉から



〈理性を尊重する作法〉へ

〈社会構造〉の設計指針となる 〈心の習慣〉

② 〈包摂〉に向けた設計

共同体の空洞化



不遇意識を抱く、知識社会から排除された層



付和雷同的噴き上り & クレージークレイマー



人々による「承認」と「囲い込み」



不遇意識の緩和 & 知識社会からの排除の緩和

住民投票という処方箋

原発都民投票条例直接請求の請求代表者 宮台真司
実務=今井 価値=宮台 というツートップ態勢

しばしば見られた二つの誤解

①脱原発条例なのか⇒**NO**

原発推進であれ脱原発であれ住民意志を表明する

②世論調査による決定なのか⇒**NO**

投票に先立つワークショップ&公開討論会が本体

ワークショップ&公開討論会が本体

国や自治体や企業に情報開示させる (by法令)

福島原発事故で暴露された隠されたデータ



論点毎に対立的立場の専門家同士の討論&質疑

審議会の虚妄：人選段階でシナリオが100%確定



最後は専門家(と議会)に任せず当事者住民が決める

議会の虚妄：何も知らぬ議員が審議会の結論を鵜呑み

医療の昨今に類似 インフォームドコンセントとセカンドオピニオン

かつては担当医師の決定に全て任せた

患者に医師の見識と技量を評価するチャンスなし



現在は担当医師の説明・他の医師らの説明を比較

最後は非専門家である患者当事者が決める

目的 : 担当医師の〈フィクションの繭〉からの、離脱

住民投票の2つの目的

目的1：〈巨大なフィクションの繭〉の破壊

日本だけの〈巨大なフィクションの繭〉の数々
絶対安全神話、全量再処理神話、原発安価神話...

目的2：〈分断された地域共同体〉の再統合

都民投票条例案の「16歳以上」「永住外国人」の意味

世代的分断の克服 & 民族的分断の克服

= シャンタル・ムフの〈事実性による統合〉 一宿一飯の恩義



〈依存的な共同体〉から〈自立した共同体〉へ

〈共同体自治〉への処方箋は 民主主義のバージョンアップ

not 多数決 but 〈参加〉 & 〈包摂〉

〈参加〉 = ワークショップによる〈繭〉破り

〈包摂〉 = ワークショップを通じた分断破り

ワークショップ = 体験を通じた成長が生じるグループワーク

『あたらしい憲法の話』の「皆で決めると間違わない」は100%間違い

not 討議 but 熟議

熟議 = 〈地平を切り開く討議〉 (byホネット)

立場が決まったディベートやデモンストレーションでない

〈価値〉についての「目から鱗」体験へ

〈共同体自治〉実現に必要なのは 強力な〈価値〉 & 徹底した〈リアリティ〉

既存政党: 〈価値〉 & 〈リアリティ〉のどちらかだけ

民主党: 〈価値〉だけがあって〈リアリティ〉が不在
目的を実現するための手段の戦略的吟味が不在

自民党: 〈リアリティ〉だけがあって〈価値〉が不在
既得権益にへばり付くノウハウだけの利権政党

今回は〈共同体自治〉に必要な〈価値〉 & 〈リアリティ〉を示した
〈共同体自治〉がなぜ良いかという「目的の〈価値〉」
〈共同体自治〉にどう近づくかという「手段の〈リアリティ〉」

皆さんに残したい一言

都市を、地域を、社会を
〈我々のもの〉にしよう!

そのために
強力な〈価値〉と
徹底した〈リアリティ〉を
シェアしよう!

そのことで〈我々〉を作り出そう!
さもないと生き残れないのだから